

城ヶ岳



令和5年1月13日
第27号
佐世保市立宇久中学校
校長 萩山 栄二

●学校教育目標 「ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒」

●教育理念 「磨く」「輝く」「光る」「子どもは『希望』である」

< 3学期がスタート >

■明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

■令和5年が始まりました。3学期の始業式を先日終え、学校も徐々に通常の様子を取り戻しています。「一月往ぬる 二月逃げる 三月去る」と言われます。様々な行事がありあつという間に過ぎていくことを表しています。進級・進学に着実に備えたいものです

始業式

■始業式で話したことを紹介します。

「冬来たりなば 春遠からじ」という言葉があります。イギリスの詩人シェリーの詩が出典です。彼の長詩「西風に寄せる歌」の最末尾に、

If Winter comes, can Spring be far behind?
とあります。

疑問文に訳すと、「冬が来るなら、春はるかに遠いことがありますか?」

反語的に訳すと、「春遠からじ」(春は遠くない・春は近い)つまり、「冬が来るなら、春は遠くない、春は近い」ということになります。

体育館裏には、寒い冬に凍と咲く水仙が咲いています。水仙は、夏から秋にかけて栄養を蓄えているそうです。北陸地方では、水仙のことを「雪中花」と呼びます。白い水仙の花言葉には、「神秘」という意味があります。この花言葉の由来は、寒さ極まる冬に開花する生命力の強さからきています。

春、暖かくなってくると木々や草花が一斉に花を咲かします。寒い冬の間春に向けた準備が見えないところで着々と進んでいるからなのです。冬が来たら春は近いのです。

この令和4年度を立派に締めくくることを目指し、頑張っていきましょう。

< 生徒の決意のことは >

■1・2年生代表の二人の決意の言葉を一部抜粋・要約して紹介します。

【1年生；松雪愛美さん】

私が3学期に頑張りたいことは、三つあります。

一つ目は、課題を早く終わらせて、自主学習に励むということです。1年生のうちにしっかりと学習内容を理解することを頑張りたいです。

二つ目は、生活習慣をしっかりと整えるということです。2学期は時間ギリギリに登校することが多かったので、3学期は生活習慣を見直して、管理をしっかりとすることを心がけたいと思います。

三つ目は、習い事を面倒くさいと思わず、主体的に取り組むということです。ちょっとでもいいからやってみようというプラスの考え方に変わってきたいです。



1年生は、学級で『助け合い』という目標を立てて頑張っています。2学期、行事などがたくさんあって、助け合いの「た」たくさん勉強ができていなかったと感じました。3学期は学級みんなでたくさん勉強を頑張っていきたいと思います。

次に入ってくる1年生の良いお手本となれるように、もう一度どのように生活していくかをしっかりと考えて、いろんなことを先輩任せにせず、積極的に行動していきたいです。



【2年生；大塚暖仁さん】

僕たち2年生は、今学期を3年生の0学期として、また新たなリーダーと指定の自覚を持って、学校を引っ張っていかなくてはなりません。僕たち2年生が3学期に頑張ることを三つ上げたいと思います。

一つ目は挨拶や返事の声です。学校のリーダーとしての自覚を持ち、これまで以上に大きな声ではきはきと挨拶したり、相手に聞こえるように返事ができるようにしていきたいです。二つ目は委員会活動です。リーダーとしての責任や自覚を持って行いたいと思います。そして責任や自覚を持って任された仕事などを行いたいです。三つ目は行事などの準備の時に声掛けや手助けをすることです。3学期は今までよりもスムーズに準備を進めることができるように声掛けや手助けをしていきたいです。

個人的に3学期になって頑張りたいことは勉強に対して意欲的に取り組むことと本をしっかり読むことの二つです。

これらの目標を達成できるよう、そして3年生が安心して卒業できるよう、学校のリーダーとして少しずつ成長したいです。卒業式では1・2年生一丸となって心に残る卒業式にしていきたいです。



< 中高合同百人一首大会 >

■今年の大会の感想は一言「楽しかった」です。中学生は高校生に負けず劣らず善戦しました。中高生が一堂に会して「百人一首」をしている光景はとても良いものです。学校というより地域の子供たちが集まって楽しくやっているそんな感じを強くしました。兄弟姉妹がわいわいとやっている様子がとても楽しそうでした。だからそれを見ていた私も「楽しかった」「面白かった」という感想をもったのです。宇久の子供たちのよさが垣間見えました。



■和歌は日本の伝統文化です。今回の百人一首大会が和歌を詠んでみようとか『古今和歌集』などの古典に興味を持つことにつながればと願っています。

